

5つの視点

各学校においては、授業づくりの視点について全教職員で共通理解を図り、共通実践による授業改善に取り組むことが重要です。道内の優れた授業実践をもとに示した授業づくりの基本の「5つの視点」を日常の授業改善に活用してください。

〔視点1〕身に付けさせたい力を明確にした単元づくり

23 ページ

- 単元（題材）を見通して、身に付けさせたい力を明確にし、評価規準を設定する。
- 評価規準に応じた学習活動を、単元全体を通してバランスよく位置付ける。
- 生徒の学習状況を評価規準に基づいて見取る。

〔視点2〕「ねらい」から「まとめ・振り返り」までの1単位時間のデザイン

24 ページ

- 1単位時間で完結できる導入・展開・終末の時間配分をする。
- 本時のねらいに正対した学習活動を位置付け、評価規準との関連を図る。
- 教科書の構成を理解し、教材研究をする。

〔視点3〕全ての生徒の学習を深める授業技術

25 ページ

- 本時のねらいに応じて、発問や指名の意図を明確にする。
- 板書やICTを並行して活用し、生徒の思考が見えるようにする。
- 授業や家庭学習で活用できるノート指導をする。

〔視点4〕全ての生徒が落ち着いて取り組める学習環境

26 ページ

- 学級を互いに学び合う学習集団に育てる。
- 清掃や整理整頓の行き届いた清潔な教室環境を整備する。
- 学習環境として教師の言動を整える。

〔視点5〕学びに主体性をもたせる家庭学習

27 ページ

- 家庭学習の習慣化について、学校全体で組織的に取り組む。
- 自主学習と宿題のねらいを明確にし、段階的に取り組ませる。
- 授業と関連した学習課題を設定する。